

【案件概要】

ドコロ県アトゥル小学校における教育環境改善計画

1. 計画の概要

被供与団体	アトゥル小学校
供与額	84,349米ドル
署名者	アビト・マーガレット(校長)
計画名	ドコロ県アトゥル小学校における教育環境改善計画
実施地	ドコロ県ドコロ町(ウガンダ北部)
供与内容	教室棟2棟, トイレ棟2棟, 貯水タンク1基, 家具(2段ベッド及び机・椅子)
贈与契約署名日	2017年3月7日

ドコロ県を含むウガンダ北部・アチョリ地域では、過去20年以上にわたり、反政府勢力「神の抵抗軍」(LRA)と政府軍との間で内戦が繰り広げられ、約180万人もの国内避難民が発生しました。2006年以降の和平交渉成立とともに、国内避難民の帰還が進みましたが、生活に必要な基本的社会・経済インフラはいまだ不足しており、人々の生活の再建・貧困からの脱却は困難に直面しています。ドコロタウンに所在するアトゥル小学校は、小学1年生から7年生の生徒1,099人(男子526人, 女子573人)を受け入れています。政府の授業料無償化政策施行以降、生徒数が増え続け、100人以上が1つの教室で勉強している教室が6教室あります。また、トイレに関しても同様に、男女5基ずつのみしか正常に機能しておらず、授業中・授業間問わず混雑しています。加えて、既存のプラスチック製雨水貯水タンクは内戦時に破壊されたまま修復されておらず、生徒は近隣のため池の水を使用しています。本計画では、教室棟2棟, トイレ棟2棟を建設し、雨水貯水タンク, 家具を整備することで、アトゥル小学校の生徒1,099人の学習環境が改善されます。

2. 贈与契約署名式

2017年3月7日、在ウガンダ日本国大使館において、中村温臨時代理大使とアビト・マーガレット校長の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

